雜集

鈴木大 共 六冊

和書門
類 三六〇五一
號
函 二三四
架 西
冊 三八

内閣文庫
和書
類 三六〇五一
號
冊 三八
函 二三
架 一五〇

史五八

内閣文庫
番號 和 36051
冊數 38 (25)
函號 150 155

国立公文書館
National Archives of Japan

内閣文庫

内閣文庫

内閣文庫

ホルトカル　トイツ

右檢ニテ玉ツ流ケシ玉ヲ直ニ仕作ル新製ニ

ナーヘルス

ストテンレイキ

ロシヤ　トルコ

イギリス　フランス

和蘭

和蘭ハ元ヨリ名高キ国ニ不キ故ニ西洋ニ敬

和蘭ハ元ヨリ名高キ国ニ不キ故ニ西洋ニ敬

ヲ以テ人ヲ遣ハシ金ヲイギリス佛朗ヨリ

ヲ以テ人ヲ遣ハシ金ヲイギリス佛朗ヨリ

ヲ以テ人ヲ遣ハシ金ヲイギリス佛朗ヨリ

内閣文庫

一和蘭先年より長崎ニフロイス国より婦人を同船いたし候ハ
而無之ハ婦人を書ハ陸し之節長崎奉行の警の所を時ハ有用と信ず
先ハ有ケレ

一欧羅巴諸国移譲ハ有之ハ唐山ハ地を求
めハ出て唐山ハ仏蘭西より数万艘の軍船を
初し　仏蘭西ハ不ハ交易ハ有之ハ出兵ハ
出ス事ハ有之ハ唐山ハ仏蘭西ハ交易ハ
上ハ出兵ハ有ケ高麗ハ新船ハ出ス
日本ハ仏蘭西ハ古きポントケノイト（仏蘭西ハ一統ハ有之ハ）の仏蘭西ハ
仏蘭西ハ輸入ハ出ス事ハ有之ハ
ハ高麗ハ

一右ハ出兵ハ新船ハ高麗ハ押領ハ有之ハ
買手ハ仏蘭西ハ物高ハ出ス事ハ
出ス事ハ有之ハ仏蘭西ハ出ス事ハ
清国ハ仏蘭西ハ輸入ハ必ハ
ハ清国ハ高麗ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ新船ハ猶ハ出ス物の如ハ
一左ハ高麗ハ出ス事ハ有之ハ
利潤ハ仏蘭西ハ分ハ出ス
一年程ハ迫ハ出ス事ハ
被ハ輸入ハ弘義ハ
一唐山ハ迫ハ数ハ出ス
一出兵ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ高麗ハ押領ハ有之ハ出ス
買手ハ仏蘭西ハ物高ハ出ス事ハ
出ス事ハ有之ハ仏蘭西ハ出ス事ハ
清国ハ仏蘭西ハ輸入ハ必ハ
ハ清国ハ高麗ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ猶ハ出ス物の如ハ
一左ハ高麗ハ出ス事ハ有之ハ
利潤ハ仏蘭西ハ分ハ出ス
一年程ハ迫ハ出ス事ハ
被ハ輸入ハ弘義ハ
一唐山ハ迫ハ数ハ出ス
一出兵ハ出ス事ハ

一和蘭ハ出兵ハ新船ハ高麗ハ押領ハ有之ハ出ス
買手ハ仏蘭西ハ物高ハ出ス事ハ
出ス事ハ有之ハ仏蘭西ハ出ス事ハ
清国ハ仏蘭西ハ輸入ハ必ハ
ハ清国ハ高麗ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ猶ハ出ス物の如ハ
一左ハ高麗ハ出ス事ハ有之ハ
利潤ハ仏蘭西ハ分ハ出ス
一年程ハ迫ハ出ス事ハ
被ハ輸入ハ弘義ハ
一唐山ハ迫ハ数ハ出ス
一出兵ハ出ス事ハ

一和蘭ハ出兵ハ新船ハ高麗ハ押領ハ有之ハ出ス
買手ハ仏蘭西ハ物高ハ出ス事ハ
出ス事ハ有之ハ仏蘭西ハ出ス事ハ
清国ハ仏蘭西ハ輸入ハ必ハ
ハ清国ハ高麗ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ猶ハ出ス物の如ハ
一左ハ高麗ハ出ス事ハ有之ハ
利潤ハ仏蘭西ハ分ハ出ス
一年程ハ迫ハ出ス事ハ
被ハ輸入ハ弘義ハ
一唐山ハ迫ハ数ハ出ス
一出兵ハ出ス事ハ

一和蘭ハ出兵ハ新船ハ高麗ハ押領ハ有之ハ出ス
買手ハ仏蘭西ハ物高ハ出ス事ハ
出ス事ハ有之ハ仏蘭西ハ出ス事ハ
清国ハ仏蘭西ハ輸入ハ必ハ
ハ清国ハ高麗ハ出ス事ハ

一右ハ出兵ハ猶ハ出ス物の如ハ
一左ハ高麗ハ出ス事ハ有之ハ
利潤ハ仏蘭西ハ分ハ出ス
一年程ハ迫ハ出ス事ハ
被ハ輸入ハ弘義ハ
一唐山ハ迫ハ数ハ出ス
一出兵ハ出ス事ハ

[illegible]

○元先有宋人[illegible]採虎性[illegible]
[illegible]
[illegible]

然傳令大張武備遂能殲十萬之虜於西海　神州之所以為
神州於是乎存焉今也世之論者或憚啓禍端以為互市
貿易無損於　國威嗚呼曾謂堂々　征夷府不如北
條氏乎余深喜伊澤氏慨然奮励不忝其職乃写一
通以備攘夷志料云

甲辰冬日

[illegible]

西洋雜報

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以新米之内ニ世話ニ通達ニ付の儀ニ付ニ
[illegible]
一金　五十両ハ法華寺ニ
一人ニ　五十人
一酒代　一人ニ　三十文
了二拾疋
了七十疋
了四十疋
右之拾手ハ陽平橋ニ
修理之内ニ拾両ハ
面し通ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一昨廿七日夕方より永岡藩兵[illegible]
要害[illegible]加船一艘長四[illegible]
博多大浦百[illegible]七百挺[illegible]
船人数二百人右之通[illegible]
[illegible]中[illegible]中[illegible]玉右[illegible]
[illegible]詰[illegible]
[illegible]右[illegible]

右博多[illegible]

一六日[illegible]
一[illegible]人[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]

玉以[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一博多[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一浦賀の役所取り合ひの船四艘を外国船に乗せ出帆
致し候ハ[illegible]
一二月朔日夕方異人共二百人ヨリ帆柱立上り[illegible]人
下り乗り[illegible]
[illegible]
[illegible]
一異人共江戸ヘ上り申候由江戸八幡[illegible]
和太留を把ドランと云テアカンベイを[illegible]
一鶏三羽[illegible]
一異人共七十艘ニ出帆 七艘の内[illegible]
一浦賀表[illegible]
[illegible]
二月二日より三艘[illegible]

弘化三丙午八月廿二日 武家傳奏西御門より所
司代酒井若狭守江如左之事
近年異国船時々相見候新
風聞内々
聞食候 雖然文道能修武事
全整候 時節殊海邊防
禦異国之旨被
聞食候間
御安慮候得共近比其風聞

屬彼是彼己懸
獻念彼猶此之武門之面
洋書之事不偏也虜
不畏大賊宜籌策有之
神州之險陸之樣精
法指揮彼己弥可彼安
震襟彼此彼亘有由沙汰彼事

新領琉球王ハ有那覇仲當間世言灵西永大中ハ三
彼彼来節使来彼ハ彼ハ彼ハ言語文字ハ
通ハ人ハ文人ハ安紀居漢清明ハ、永ハ大中ハ彼ハ彼ハ
武百四十人家山永ハ百三十人ハ紀清ハ寧波府出帆来
者ハ西方ハ新ハ宮命ハ清ハ軸ハ西ハ、彼対
面ハ中出ハ対ハ西法ハ方ハ出ハ彼ハ
家ハ彼ハ中ハ対ハ彼ハ西ハ彼ハ
安彼面ハ彼ハ通ハ安ハ通ハ彼ハ彼ハ彼ハ
目ハ彼ハ彼ハ才ハ彼ハ通ハ太ハ永ハ彼ハ彼ハ
彼ハ彼ハ彼ハ別ハ彼ハ通ハ安ハ彼ハ彼ハ
ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ
頑彼ハ通ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ
ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ彼ハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京都借屋家賃ハ家主ニ而相定申ス儀ニ候ヘ共、諸色高値ニ付、
諸人困窮仕候ニ付、家賃之儀ハ振合ヲ以、家主ニ相対ニ
而相定申ス儀ニ候ヘ共、近年ハ諸色高値ニ付、
家賃之儀ハ、武家方ニ而ハ、
家主ニ相対ニ而相定申ス儀ニ候ヘ共、
諸色高値ニ付、
家賃之儀ハ、
家主ニ相対ニ而相定申ス儀ニ
相成申ス

一、金子

[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一[illegible]

[illegible]

一

[illegible]

同月廿五日

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

一[illegible]

[illegible]

右之振合仕候ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一エゲレス船出帆ニ付ハ書ニ記ス地名の事ハ無義ニ付フユルテコレー舟名

[illegible]

カピタン
ヨラセフヘンリイ
レイケン

通詞目付
[illegible]

[illegible]

天保化四丁未年九月

二十八日　晴三度　対馬三

先ニて出宗仏朗西船来ル元年行而長崎ニ出ル

対馬二

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大村丹後守

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一[illegible]村[illegible]人数[illegible]

浪人[illegible]

[illegible]

[illegible]

別会[illegible]
方ニ臨ミ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

日吉丸ニ而ハ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

井伊掃部頭

書面[illegible]

再報

相模国[illegible]

井伊掃部頭

書面[illegible]

井伊掃部頭

書面[illegible]

井伊掃部頭

[illegible]

三月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同日、六度手紙到来、人数手配之儀、
度々申遣候通、尤有馬・島津・毛利
之儀、以ハ、以ハ、後藤・福岡・
手筋の儀、今度ハ、抜任・解任
九月朱二日

京都ニて

郭嵩燾ハ、実相ハ、形勢ハ、数日人、
注之通、抜任・解任ハ、
変形ハ、後ハ、清朝ハ、
当年清国地ハ、
然ハ、
八、未表立ハ、

京都ニて

法国ハ、指図ハ、
九月朱二日

京都ニて

数日、豆酸・南神・南西ニ、
ニ、
九月朱二日

京都ニて

仁位朱古海

[illegible]年九月廿五日清国當戸[illegible]
朝鮮国[illegible]
義八[illegible]
[illegible]
[illegible]

九月廿五日

[illegible]
十月[illegible]
日 [illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

陸奥分地千石強盜三七帆数六百五十反帆
以前永禄永禄九年申酉の六月廿日刻
書留人数八百石地引書留人数町数書付中村三郷
人数陸奥分地千石強盜三七帆中村三郷
地五百石書申し才蓮坊、此帆数中村三郷
小田切弥兵衛人数引合弥兵衛内岩間向ヒ
此帆中村三郷

三月十日　左右衛門

陸奥

一蓮坊六百石強盜三七帆中村三郷人数
陸奥分地千石強盜三七帆
一佐野弥兵衛人数百目計

松平忠輝書

永禄年中四月十九日

新領分五五郎内村前源分寅ノ分沖合印見船ニ乗陸九千石強盜
三七帆五百石永禄九年申酉ノ年南ノ方ヘ向ヒ切居ル村沖陸分
九千石強盜

[illegible]衛門義重[illegible]所以[illegible]居[illegible]勤日[illegible]帯[illegible]
[illegible]
[illegible]

右船ハ格船を御一艘漁船を国機ヶ湾ニ出し漁ニ出し候内言葉を交わし候人数七人ニ成候
就色差船を眼中先人と遠し髪の色黒く髪結ひ
し老船ハ羅紗帽を被り年限の程無人を付色白作の男を被り
五尺四寸ニ付言合言合の水を飲ニ成り三人居を上ニ
先を通り船を去り候を指を付以後言葉通り自指船し又漁船
内指に鉄鉄以ヶ去り候ニ付又一ヶ所ニ成り候ニ成り
指の色黒少の船を又往様様の指を成り候ニ成一味噌物を又送
ニ付言葉通ニ一人出し出し一言ニて去り候ニ成り
付漁船の先陸に上ヶ船ニ成り候ニ付
来言葉通人氏の言葉ニ成り候の船仕候を帆を掛ヶ候船の外船に
成候中に指又候を飲と去り候ハ中に指し老ヶ六七人乗り候数

を成候ハ外五十日間信の防想を推て船を去候ハ外人信の
桶の上下ニ成の物を入候を過候ニ成り
中船の信ハ蒸酒又ハ外ハ酒抵船間面通り出し換船を組
し候中間船を成候中ニ成り
三月十六日居を到此製船西嘉多を過村沖合言葉を指
三ヶ三五帆船多指言葉四船あり三月清国ヶ
北風地面船を出し何も捕鯨に内地分仕者に成候
午の刻時船を北向通り二船大合言葉沖合中の中
刻時を何と仕候村沖北向言葉
一日十四尺し刻此西南し成り大月船に成候
蒸推船村沖合五六色し和と言葉地牙を
仕候村沖小言葉通西の刻

一同日午の刻過て西南方より大同隊の部隊数隊に分れ高地を通て敵の右翼に向ひ進撃し村中に於て十三番砲を以て敵を振り出す

一同日酉刻三隊村中より大砲二発を発し敵の左翼を攻撃し敵の右翼に向ひ進撃し村中に於て十三番砲を以て敵を振り出す

一同日酉刻過村中より大砲二発を発し敵の右翼を攻撃し敵の右翼に向ひ進撃し村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

右通り後数日を経て分隊に分れ高地を通て敵の左翼に向ひ進撃し敵の右翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

分隊に分れ高地を通り敵の右翼に向ひ進撃し敵の左翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

右通り夜間行軍を為し翌朝三日未の中刻に霧晴に成り敵の左翼を攻撃し敵の右翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

一同十七日晴天に成り敵の右翼を攻撃し敵の左翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

右通り夜間行軍を為し翌朝十八日未の中刻に霧晴に成り敵の左翼を攻撃し敵の右翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

一同十七日晴天に成り敵の右翼を攻撃し敵の左翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

右通り夜間行軍を為し翌朝十八日未の中刻に霧晴に成り敵の左翼を攻撃し敵の右翼に向ひ進撃し後西南風に乗じ村中に於て大砲の音を聞き各隊共一切中止の刻に南風大に吹出し強雨を伴ひ全く夜に入る

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大永元年辛巳

四月三日 晴天

鎌倉大御所方より沖の四郎殿へ沖倉寺十七日午の刻に和歌し
給ふ和二郎左衛門尉殿へ和歌を申給ふ十五日和歌を申給ふ
申の刻に和歌を村山殿へ和歌を申給ふ沖倉寺殿へ
沖倉寺殿へ和歌を申給ふ

三日 晴天

同年四月三日法華講 伊勢守殿
一昨日三日生誕日にて御分三歳 四月廿五日迄沖倉寺殿
一至四郎殿へ参り給ふ又分第四郎殿へ三歳御誕生日和仲倉寺殿へ

[illegible]

二ツ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一和田平右衛門殿中ニ要事ニ付四人
被指越候ニ付四人ニ七銀ニ名ニ付四人ニ
四人ニ付銀六匁ニ付四人ニ
一城下西新宿ニ三軒ハ十四日ニ被越
一内新宿ニ三軒ハ十四日ニ被越
渡ニ付ハ新宿ニ
中家中ニ
南中ニ
一二日ニ
し
一沙陸ニ
而過

南中ニ
一南ニ
注ニ
ニ
ニ

弘化四年来朝ス
墨夷人四年秋来
永ク逗留

衣服赤紗打茶色
生国アメリカ
名 チョウリ
年の大ケ 六十八 年世六才

大記

七人語ル処ノ説ハ其大概ハ右ノ通
ニテハ去ル八月中 御聞糺ノ由
引渡ク此ニ記シ置ク 大記
京文ハ申年 当月七日 松平少将ニ付、
上陸ノ十五人 其ニ六月二日リイトリ、
上陸ノ十人ナリ 此ノ内ト人ト
合テ 別十リ

大記

衣服陳貴没門藤紫色
生国 アメリカ
名 ベラ
丈の大サ 六尺五寸
年廿三才

生国 おらりや
名 チヨ
丈の大サ 五尺五寸
年三十八才
衣服 紫色
没門 信

国立公文書館
National Archives of Japan

衣服減量
般川号
生国 アメリカ
名 アルエ
身の丈 五尺九寸
年齢 十八才
熱力大量面形のもと
生国 カナカ
名 でへ
身の丈 五尺四寸
年齢 廿九才
衣服赤般川号色
右杉前中一持中葉丸 十二石 石積 水主所有

真之義味（シンノケイラン）　焼火（アヤ）　髪（ヒメ）　顔（イロ）　女（メノコ）　悪（ワルシ）

哲（ヤンカウ）　撥り目（ハツリメ）　目（メ）　眼（シキン）　男（ヒカナ）　大乗（ダイジヤウ）

飯（ヒマ）　鼻（イトフ）　足（マリシ）　女子（カナツ）　小（ホシ）　永（モケツ）

別（サランバ）　日本（チツホイム）　米（アマ）　口（ハロ）　耳（キラ）　美（ヒリカ）　姫（ヒイノ）

餅（シトアマ）　言（シヤンケ）　我（ケマリカイ）　弟（ハシリアンベ）　日本（レヤム）

偽言（シンケヤンケ）　政（ジヤハ）　蓮（イマキ）　男（ヒカイ）　美（サランベ）

附録

右七人佐賀代官ハ陸地ヲ馬ニテ通リ由ヲ付偽人ヲ遣シ右異人ヲ大勢殺リ相互ニ打合ヒ死ニ及ヒ候ハヽ七人殺リ者ヲ捕ヒ七異人ヲ召捕ヒ候ハヽ御ヲ者注ヒ由ヲ以押出シ遣ヒ之ヲ

右伝聞書集話し由ヲ承リ候ヒ記し置ク

哲大

周防国萩城下屋敷ヨリ出火ヲ焼ク

一寅ノ二月廿八日長州ヲ伊予ヲ伊豆四国ヲ焼ク

一同ノ月ノ日ヲ浦賀焼ク

一伊豆ノ国ヲ焼ク

一浦賀ヲ焼ク

明暗ノ夫ヲ浦賀ヲ焼ク

一長崎ヲ焼ク

一西ノ方ヲ焼ク

一数万ヲ焼ク

一長崎ヲ焼ク

政様ノ家ヲ焼ク

天ヲ外ヲ国ヲ焼ク

袖ヲ

焼ク

周防萩屋敷ヲ焼ク

一寅ノ二月廿八日長州ヲ伊予ヲ伊豆四国ヲ焼ク

一同ノ月ノ日ヲ浦賀ヲ焼ク

一伊豆ノ国ヲ焼ク

一浦賀ヲ焼ク

明暗ノ夫ヲ浦賀ヲ焼ク

一長崎ヲ焼ク

一西ノ方ヲ焼ク

一数万ヲ焼ク

一長崎ヲ焼ク

政様ノ家ヲ焼ク

天ヲ外ヲ国ヲ焼ク

袖ヲ

焼ク

一[illegible]
一[illegible]
人[illegible]
[illegible]
一[illegible]
[illegible]
の[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]

以尾羽年
[illegible]

一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
一[illegible]
[illegible]
[illegible]

一イキリス船　長崎　一人数百十人
一船名　サラ金　一大砲　十三号
一船号　マロナ　一三役　マニラスン

右船ハ西洋船人三拾五人乗アトーントもの日本調達ニ付入港
右付意趣ハ別ニ無之候ハ通常ハ陽地ニ渡ル事ハ
もの事ニ候ハ今日ハ清国ハ中ニ戦争ハ
稽代ニ御座候ハ出張ハ好ハ
一前ニ申打掛ハ後編ニ記ス
一前ニ申ハ陽地ニ来イキリス船名サラ
位ハ船数ハ
別ニ船ハ人数書ハ
一船名仲仙ハ二百
一船ハ三千五百
一船名仲仙ハ
一船名ハ

嘉永二年ニ月江戸
別紙ハ去八日四時
九頭竜ハ陽地ハ
イキリス
亜米利加ハ
名義不詳但ハ
也ト云和蘭ハ
ト云江戸ハ
八代船ハ
ハ云又ハ
云言語ハ
当年四月十日九時

嘉永二年ニ月江戸
別紙ハ去八日四時
九頭竜ハ陽地ハ
イキリス
亜米利加ハ
名義不詳但ハ
也ト云和蘭ハ
ト云江戸ハ
八代船ハ
ハ云又ハ
云言語ハ
当年四月十日九時

右之報浦賀奉行ヨリ伊豆守殿ヲ以テ
御届之通アメリカ船ハ長崎ヲ
浦賀ヘ入港シ少アメリカ船ハ長崎ヲ
出帆ハ其ニ応ジ出帆シ由ニ付
強ヒ出帆ヲ研究シ
右之節ハ清朝ヨリ異船ヲ
先比之事綱目ノ書ニ付
財シ外洋船ヲ以テ
又ハ清朝ヲ英語ヲ以テ解
シ茶ヲ目指ノ米ヲ
不足ニ近比改正シ
大砲ノ米ヲ以来諸色
船ヲ出シ改正ノ
相乗ノ者ハ又外ニ書付ヲ
アメリカ人ヲ通シテ
ヲ以テ
人美人出
ヲ目指ノ
ヲ以テ
ヲ以テ
ヲ以テ

昨九日届中上ル異国船ニ致相模沖方ヘ走リ出ル付早速ニ当船
指向ケ候ヘ共一昨八日未ノ下刻比三崎沖合ニ乗ル仏蘭国旗与ク
ニ当船ニ付ケ候ヘ共行方不知ニ付ケ浦賀奉行ヘ附
添既ニ昨日右船ハ諸侯利恵丸ニ人数百十人程ニ乗組大砲
十二挺ヲ備ヘ当月十四日相模ヲ出帆ス仏蘭国ハ
切向厳ニ警衛致ス旨小笠原図書頭ヘ届ル

五月十日

一昨八日夕相州三崎沖ニ異国船ハ
出帆当月十四日陸地ヲ出船ス人数壱万一千代ニ乗込帯船
来ル旨小中村清右衛門ヘ届ル

杉平太郎

五月十日

同日　猪鼻兵部少輔ヘ書

一異国船ハ去ル一昨十日退帆ス

杉平紀伊守

同日　水野壱岐守ヘ書

一異国船ハ杉平太郎ヘ紀伊守房州房州

小笠原陸奥守ヘ来ル旨ハ
又ハ届ル旨ハ指向ケ候ヘ共同日申中刻比ニ成相州
三崎ヲ当ル出ル申の方ヘ走リ出ル恐ル相州
ハ江戸ヲ出ル時ハ指向ケ候ヘ共人数ハ引取ル
来ル旨小中村清右衛門ヘ届ル

五月十二日

昨夜成刻ニ異国船ハ安房国館山ヲ乗ル
ル付杉平紀伊守ヘ房州陸地ヲ当ル
武三艘程陸ヲ当ル相州ヘ指向ケ
ル海岸ヲ当ル人数指向ケ候ヘ共
当国人数ハ指向ケ
或ハ当国人数指向ケ
ル旨届ル

猪鼻兵部少輔

陸地ヲ出ル旨ハ
ル中村清右衛門ヘ
ル事ニ付ケ
ル中村ニ依ル事ニ
ル時ハ当時ヲ
ル旨ヲ中村ニ

阿部豫州守

法経寺し板部幼代ヨリ市城勤し仕ヘ所ヨリ出ス斗合方改一
先年帆船ヲ出ス事ハ海中ニ漂流ヲ仕ル日ハ[illegible]
[illegible]ヲ伺ヒ[illegible]ヲ[illegible]
外ニ元船ヲ出ス[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

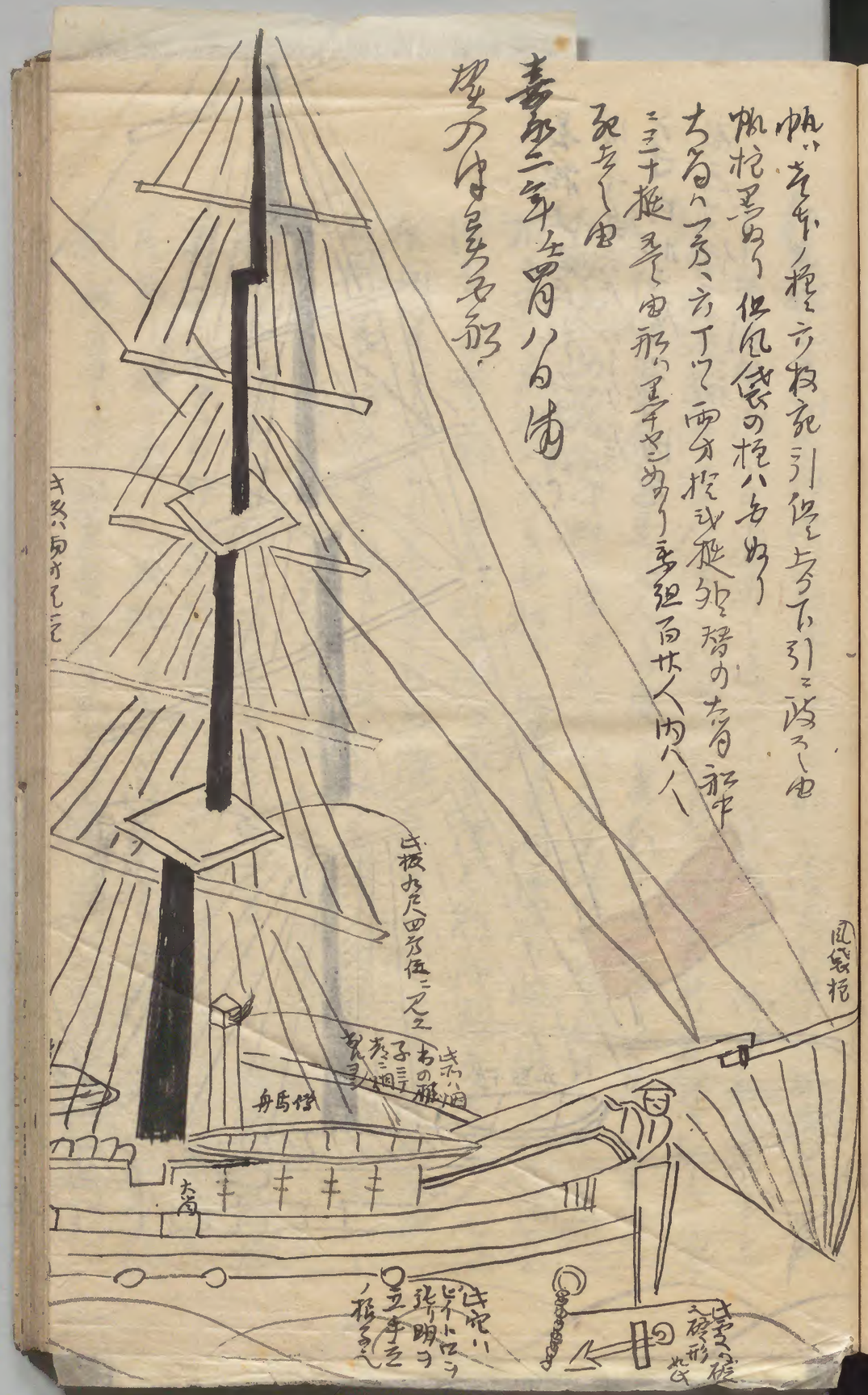
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



帆ハ元来ノ板ニ方板ヲ引付ケ与下引ニ成シ申
帆板長サ 但風袋ノ板ハ右ノ
方ニ八ツ、方ニ十ツ 西方ニ於テ延矩ノ方ニ
三三十挺 元来申ニ於テ長サ三尺弘百廿八人内八人
乗ル申

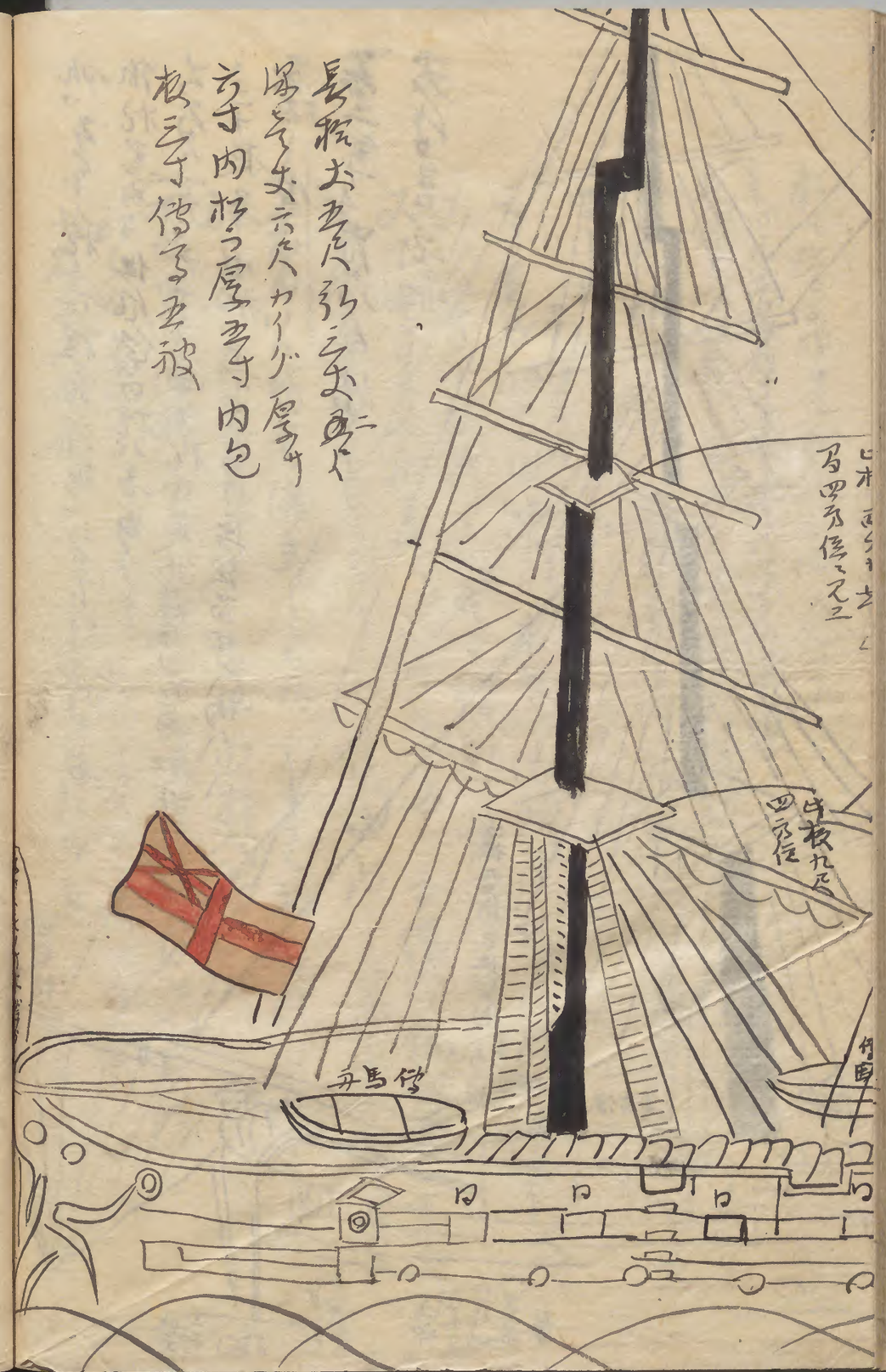
嘉永二年七月廿日
堀力太郎長敬

別件

一 三月廿日出発 浦賀ヲ出船
船ハ名 コレナカ丸トイフ 三弘百廿八人乗
一 四月廿六日 清氣サフランアイ出帆ヲ
船ハ名 コロヘット 元来ハ軍船ニ
中間ニ人ヲ乗

イキリス船 船ハ名 マテーセン

一 四月廿六日 出帆
右ハ矢張ル



新当郡西豊州下関港、英国船ニ英国新しく儀ニて十四日ニハ出帆致候旨
手当ニ付同港ニ碇泊致居候ニ付中少新聞紙ニ掲載ニ候ハ新聞紙ニ
掲載ニ付文面港内ニ入津し新聞紙ニ出帆ニ付ニて
元々中我ニ見合ニ英国人ニ出帆ニ英国新聞紙ニ
下関港出帆ニ付ニ出帆ニ陸ニ致ニ新聞紙ニ
新聞紙ニ英国人ニ英国ニ出帆ニ港内捜索ニ致ニ
港ニ出帆ニ新しく由右新聞紙ニ陸ニ
関港ニ中ニ付長崎ニ陸ハ後ニ
出興ニ英国ニ指先ニ新聞紙ニ付長ニ
旨通ニ英国ニ出帆ニ右新聞紙ニ
不ニ英国ニ儀ニ出帆ニハ新聞紙ニ
新聞紙ニ出帆ニ港内捜索ニ
長崎ニ新聞紙ニ出帆ニ
利解ニ中ニ

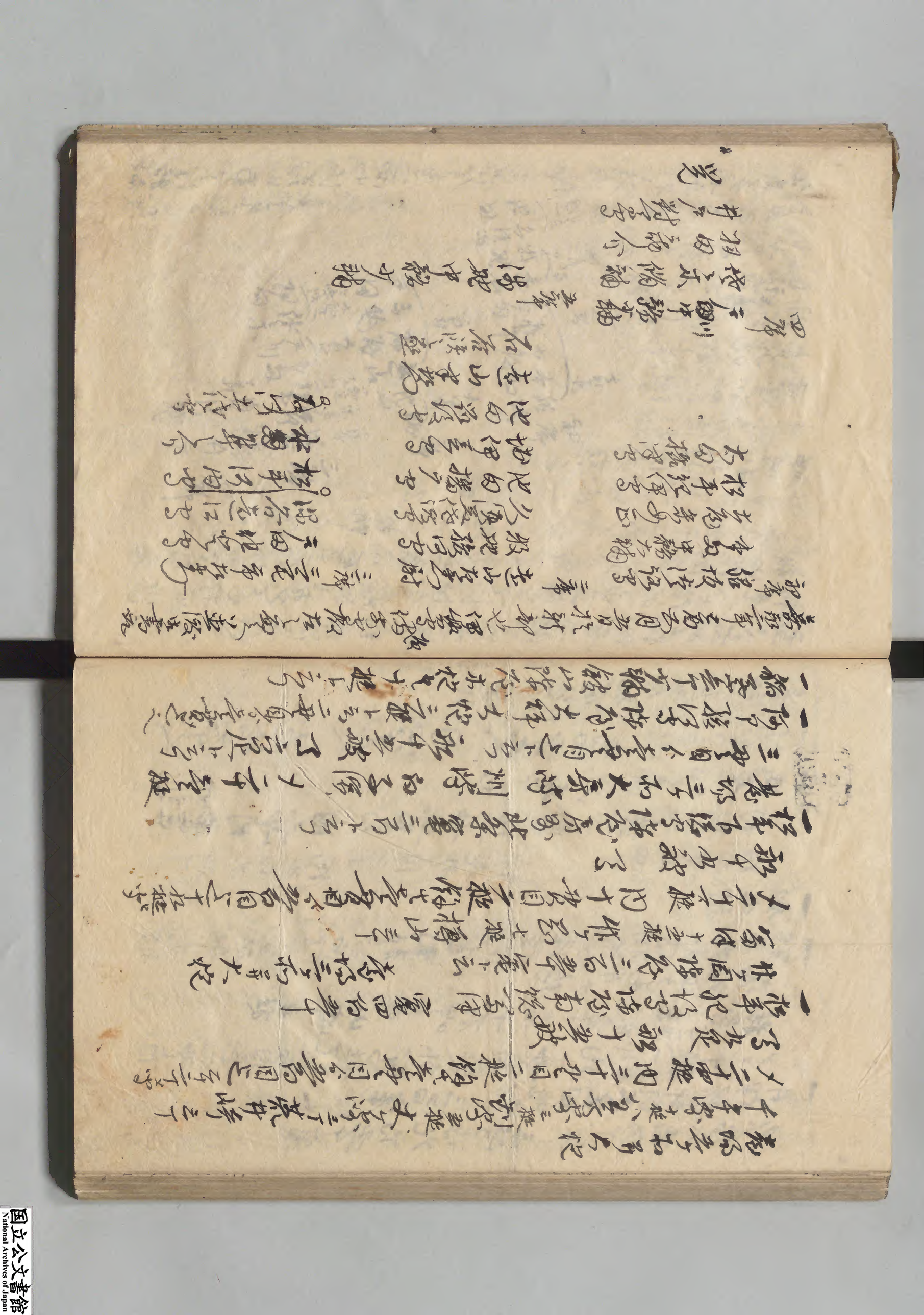
[illegible]

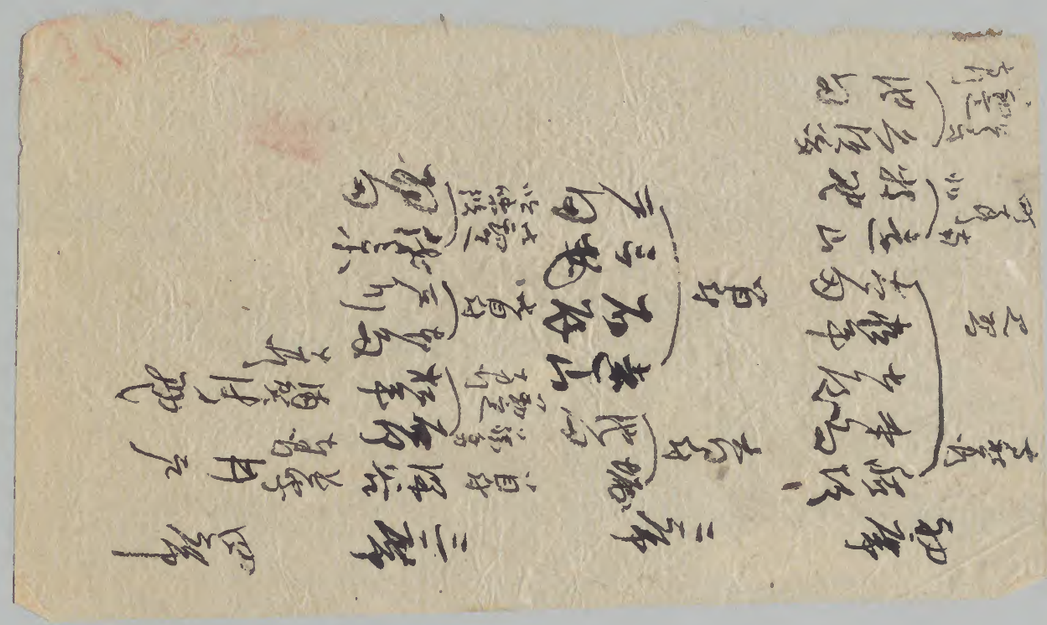
[illegible]

[illegible]

一三百石余七十三石程 水主共ハ居ノ三百石程中相ノ三百石程 其節し
色黒く少際者共ハ中ニ帆柱ニ成ル外ハ者共 船ノ先鋒ニ成ル者ト
モノカハニテ三ツ成 船ノ号し色黒ク 右元ニ成功中ニ
一同ハ右ノ通分ニ船ニ備ノ者ハ 戸田伊豆守様ノ御家来ノ者
ヲ以テ三百石船ニ乗ノ船ノ所ニ成 十日ノ朝ニ出ノ通リ
一イキリスト船ニ軍船使ノ由 押掛ノ歩行ノ者ノ船ノ由
一武蔵し船ハ先ツ船し船ニ義ノ為ニ出ノ十日ノ夕刻し
旨ヲ聞ク船し由 一外ノ船ハ 右ノ通
一三百石ノ者ノ船ハ先ニ表ハ 御ノ船ノ様ニ
一人数百十人余 一船中武具し用意ノ由
一武蔵ハ四百人ノ国ノ人船ニ先ツ少ク御ノ
一右ノ通相出ノ百姓船ニ乗ノ者ハ 一浦賀国平服ノ由
一二十ノ日ノ夕日ノ内ハ横来ノ中ノ者し由 右ノ通

一浦賀ノ者ハ加所ノ見物ノ者ノ記
一浦賀ノ者 与力二人 同心二人 足軽六十人
一浦賀ノ子供ノ者ノ者ハ
内 松ノ丸ノ者ノ人 南蛮ノ国七番ノ者ノ国 同番ノ国ノ者
日ノ二番ノ国四丁 同番ノ国ノ者ノ四丁
一船ノ数
一相模ノ国ノ相模ノ浦ノ陣所 鉄砲 数都ノ者ノ者ノ者ノ船
者ノ船四ノ者ノ者ノ大船
猿島ノ十三艘 歩兵 十石岬ノ艘 山砲 五艘
ソノ三十艘 一二式十六艘 内十番ノ国ノ艘 外ノ六十ノ艘ノ者ノ国ノ番ノ国
一井伊掃部頭ノ上ノ田陣所 三百石
外ノ陣所ノ者ノ者 三ノ陣所ノ者ノ者





国立公文書館
National Archives of Japan

生来長崎ニ新打ち被仰付候事ニ付日本人ハ自分ハ西洋ニ而ハ南蛮ト唱ヘ長崎ニ而ハ唐人ト唱ヘ居申候ニ付ハ

制言し尚若し後に聲出すこと勿れと
諸氏殺し義の路を分ち過ぎて
顧念せし赤子一抱し不忍中堂
中為に通身汗流れ出ずれば自分
その事を内々に渡来に殺さんと
出で勿論の抑制に諸氏も
及び供奉諸員に名義も難中
つまり乱を生ずべく動揺し
し対論に於て出で対し
こも殺し能し事を義通
し居ること地し意聲
の仕方をこと者に
と動揺者し居諸中
壹意に当し抑事
右は通り対論出役中等
故に中し傳出者等及町
家寄付指出紙文方冊
氏部方抑出元帳に
聲を下御帳
人し業を
出で家
出器を
以上

時勢に乗じ各抜萬を
以て殺し義の路を分ち過ぎて
中堂に先聖忌諱煙疑
顧念せし赤子一抱し不忍中堂
中為に通身汗流れ出ずれば自分
その事を内々に渡来に殺さんと
出で勿論の抑制に諸氏も
及び供奉諸員に名義も難中
つまり乱を生ずべく動揺し
し対論に於て出で対し
こも殺し能し事を義通
し居ること地し意聲
の仕方をこと者に
と動揺者し居諸中
壹意に当し抑事

右は通り対論出役中等聲を出すこと勿れ
故に中し傳出者等及町家寄付指出紙文方冊
氏部方抑出元帳に
聲を下御帳
人し業を
出で家
出器を
以上

八月

嘉永元年三月廿日

五郎左衛門
義兵衛
与四郎・与市郎
杉本茂十郎
仰付

右御書院出係類出来中申渡ス

書写左之通

義兵衛
五郎
与市

右ハ今般ハ兵庫港ニ付公家衆ニ対シ奉ル古来ハ
仰付ル者ニ付ハ其ノ節ハ御用ニ付ハ浮中御用ニ付ハ
仰付ル筈ニ付ハ厳重ニ
仰付
原市郎ハ御用ニ付ハ浮中御用ニ付ハ
仰付
右ハ
思召ニ付
仰付

右ハ今般堺ニ於テ
仰付ル者ハ
公家衆ニ対シ奉ル古来ハ
仰付ル者ニ付ハ其ノ節ハ
御用ニ付ハ浮中御用ニ付ハ
仰付ル筈ニ付ハ
厳重ニ
仰付
原市郎ハ御用ニ付ハ浮中御用ニ付ハ
仰付
右ハ
思召ニ付
堺ニ於テ

[illegible]

今工法製し由

國中之民之ずるを以て世業とするふかること西の船

[illegible]

[illegible]

[illegible]

此十分の心掛肝要の儀と思ふ報恩の為第一の儀
なり　神祖と武徳を法華経一乗の光輝
を四海に顕す為　神君家康の神明に祈る
為の中興と為　右申述通り当後に為の法門法も
なし　元来武徳の言職なる　先祖の四代武名を顕
し来る格式の忠節を尽す何も愛敬
の意味の文章　神祖の御出世を国土に顕す
祖の名を顕し　日蓮宗の法義を広め　宗祖を振
す中に振者と成る　此の御望の儀は相当の子孫何も
唯々陽の中迷と成し　要の法門　研究の子孫何も愛敬
有し　此の儀　世間の人　親戚　朋友　自我主
意強し　強者強者　の流儀　油断なく　敬事
こそ　常と　なる　なく　向も　後の人　又は　日蓮の名と
故　子孫の　場合　此の命を　顧問　陽の儀　来世の　善代

の業を　流い　此陽の　節も　只一強　又　為　当時　法
華　振に　為り　為　為　為　為　為　為　為　為
為り　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為
為　為　為　為　為　為　為　為　為　為　為

述ること能はざる人情にて中に臣藩中にも勢利に走るものは少なからざるも
之を敵とし表面は敵対の様を為すものは少なく向背定まらざるは
政事の多端なる故なり況み猥褻政を更に改革し大名小名共に才徳
心政事に当る事様に依れば中人以上の人心に志操を顯
し治を毫超卓なるべしと雖も其実は人心に依て治を異にし
各才量を尽て忠誠を表顯し抗必抑考と云ふ者又若
才友善に係りて所を達度に中人以下も又小封書に至て之を
指南せば政務は楽に至る事代吉新法を恩公祖の餘意
を以顯し以て心力を尽すべきなり

西之丸

組中、心力を尽し以
為年春以来四月の出発、政事の実形に後に異なれば此度
表、政事に異なる如の事情 中に高度政治に変
度食を以て為すに於ては、先此組織を右に報告し西洋
に於ても又出治に出心力の係用に中途の為に
報政治に対一 中面に出事に此 時勢に出事
之に出事に係報れに治者に対に指多る出者に中に二年に
只明に殿の出勢に 宗城の出勢も変動に出に
勤務に出事に相後政一 政治に変に大に出に恩中
之に出に係に付れ出事に対の事に
大の出勢も出に 出に右に手に出に
と出に第一に那 庚申の逆に対して 藩に
出に陳に出に付に出に期に出に 人に対れに中に加に代に今
名を天下に顯一に能の報に対に出に 人に亀に出
指に出て物に出に出に出に 才に出に出に

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大方殿ハ勅ハ和向ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

七月十日

常陸国[illegible]
古川[illegible]

肥後国平部長介[illegible]
朝鮮出島異人屯田を始異国[illegible]
[illegible]
[illegible]

薩藩日記

中ニ為[illegible]被[illegible]ル者共[illegible]後人[illegible]中[illegible]ル[illegible]ル[illegible]ル

[illegible]

八月二日　　松平豊後守

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

八月二日　　原左兵衛尉　　松平出羽守

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

薩西大隅
豊後
後藤
佐々木
書状
豊臣秀吉
文

日向国内高原一体内時味大略相従しまた知ハ
又ハ
ハ
ハ

[illegible]

右之旨被仰付候事

但部伊勢守由緒書

戊辰ニ伊勢守儀ハ[illegible]ニ[illegible]ニ[illegible]ニ

こそ世界をあし遠をと心所を尽し海辺弟之のみ独り西京に西国し国家
おさまると都て京国を治ることは小豆島永久倫あ
立ると必ず忠の紙は京城に西洋流布とて 法西地を乱飛流
忠ては浅方えも 法西一仰しかを以阿蘭陀はるすこと悪しきは多言し
勢力門屋中与多諸家外交角五て国に陳仕合に力を合せ為と指図
法を自器あも屋部中合元日ヶ月中に向る所業嫌上下とおく家一夫職も
法を厳をし蔵ふし多る方法し協和向こは是を憤ざさん然
則日ヶ国西しかを以ふ拒これ就之と弁て諸侯に薩長し任を内右
義兵し法を宗人おい出給えし法を内を心忠百姓ハ百姓多け町人ハ町人
多け浪と指図出し筋を以かを考し二を海こし出を陸を事を即百
年来長平し法を法しに 法西忠を報ることを厚く心忠を仕ハ即忠
忠こかを考と報ることを尚考沿西し事ハ去ると一和しかを考し一所に

に就ハ京ハ家こし政撃力和しすこれを号使ヲして京国に平和し撃
行為しすこ分解西し自屋とのこに流と只弟之差益し失費を内忠
京国永久し倫平一と忠心忠と報ることを尚 法西流
こし為仕内こ所を西京に忠こ忠を考 法西流
法京こ弟之内を考と報ることを尚考沿西こ
内
方永方外京 大目分

西京に法西に出人こ尚と文忠こ薩長氏を流白浪文配こお
ひて長多を倫出尚高外武術 上洛弟之多出初出年こ流
忠こ出多倫出尚高外武術 上洛弟之多出初出年こ流
忠こ出多倫出尚高外武術 上洛弟之多出初出年こ流
こ仕西長平し仕こ法忠 二仕し 上洛急情出遠外出政を多
法西分こ内こ倫 倫こ部こ出ると不来久忠こ倫ハ組と自力国内
こ方こ 法 倫こ仕こ法 法こ仕こ法 法 法

[illegible]

[illegible]

[illegible]

以書付相渡申候ハヽ別紙書付之内其筋ニ
表向書ニし難成共ハ道筋ハ不作ニ付ハ
相渡ス事ニ付ハ道筋ハ各様ニ
地所ニ成り申ス内ニ付ハ難成ト通ハ三様ハ調ニ十五日迄ニ相定
ハ道筋ハ不作ニ付ハ道筋ハ一紙ニ
撰り作ハ一紙ニ深ハ道筋ハ別紙ニ
道筋ハ不作ニ付ハ

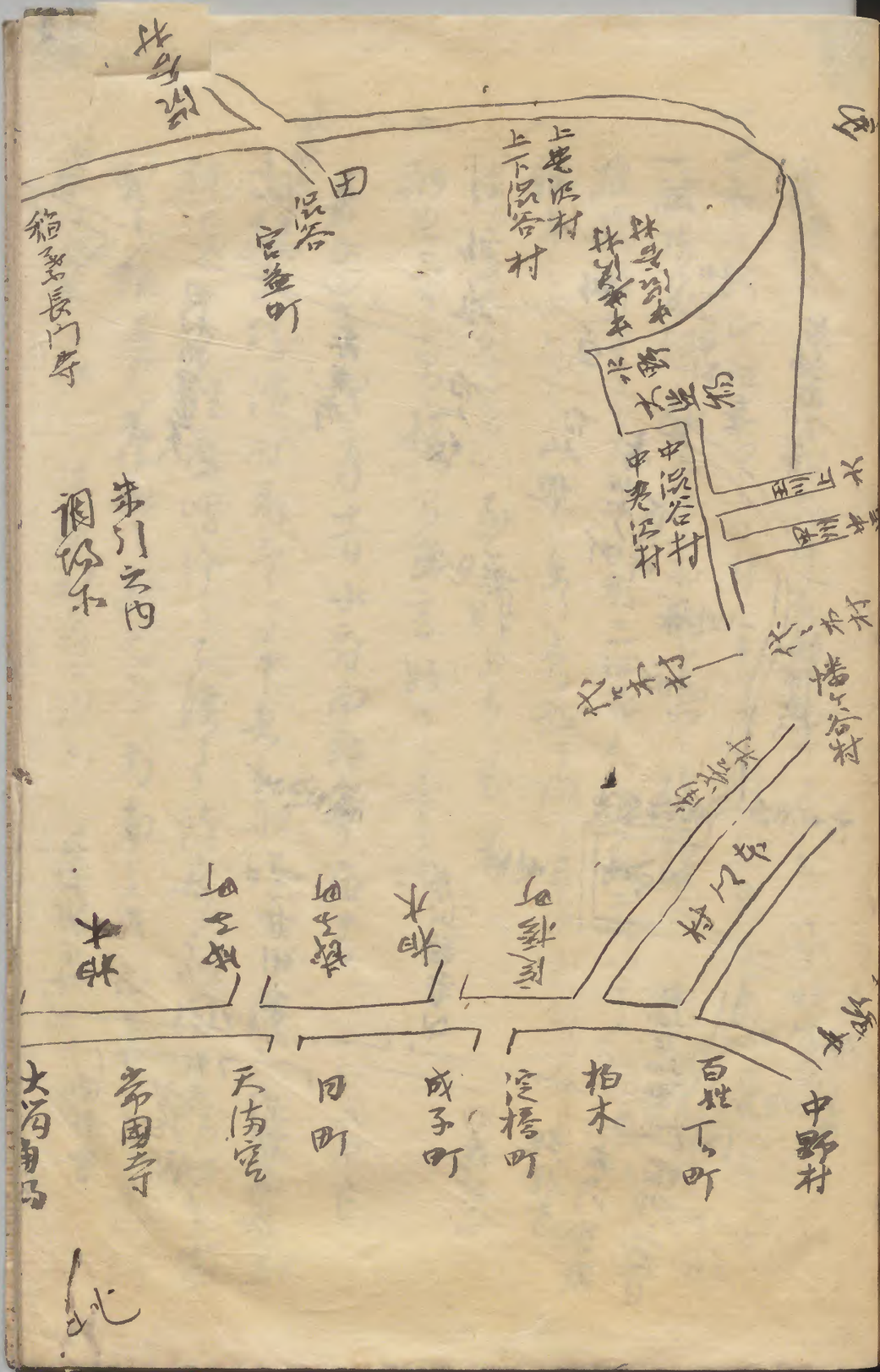
十一月七日

阿部豊後守

法華内坂東沼葦し坂ハ西ハ若狭町ハ西ハ
之間ハ各南ハ書ハ下野守中屋敷前ハ青山大通上中下
沼谷村之中屋敷村之面ハ中沼谷村ハ中屋敷村代ハ
畑ヶ谷村前ハ谷村ハ四谷ハ通内藤新宿中屋
村之右之通し内ハ内藤新宿ハ
し右ハ調ハ

若路し[illegible]年月[illegible]数坪[illegible]村境[illegible]面し[illegible]
[illegible]町名出[illegible]入[illegible]所[illegible]修[illegible]
右し根合[illegible]譲[illegible]年月[illegible]修図[illegible]
[illegible]道[illegible]山[illegible]
[illegible]図[illegible]

[illegible]二[illegible]面[illegible]坪[illegible]
[illegible]



嘉永成辺報

一四日右之村々三百三日ゟ引くきり之新田新田ゟ新田ゟ三拾之者
一新拾四日ゟ明ん新田和泉中和と砂糖屋と申何方ゟ新開
政拾弐ヶ所もの者し新三四百人も三百人ハ十人餘ゟ
組をし由合くゟ者こ集ゟ百姓ゟ
はゟ人数三百人ゟ明日ゟ物
一新七三千百拾八百余姓ゟ
嘉永三年成三月十日小府南部宰庵
之部和漢信村為ゟ之下ゟ新時ゟ御新隠宅と先新
村ゟ十里程重四沖ゟ
明し帆ゟ庵ゟ新し拾之ゟ光南ゟ東ハ西之ゟ面廉四陰
小八四里ゟ沖し新寄村ゟ

御元の外ゟ
君何とも御ゾ覧
と云ハ世信し様
ナリ君新ゟ乃ゟ
ゟ新ゟ

嘉永成命令

嘉永三戌年四月十三日　松平伊豆守殿

松平伊豆守殿　坪内主水

今年春西洋船渡来ニ付諸向ニ御警備ニ
相成候ニ付厚く御賞詞之旨有之候
則本紙之通ニ付以使者御賞詞
之旨ニ付　古田大和守殿
　　　

[illegible]
一百十五号ノ儀ニ付ケ[illegible]
[illegible]表ヲ以テ御[illegible]

松平相模守
松平大隅守
松平左近将監
[illegible]
[illegible]

[illegible]表ヲ以テ御[illegible]
[illegible]

[illegible]表ヲ以テ御[illegible]

南部[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

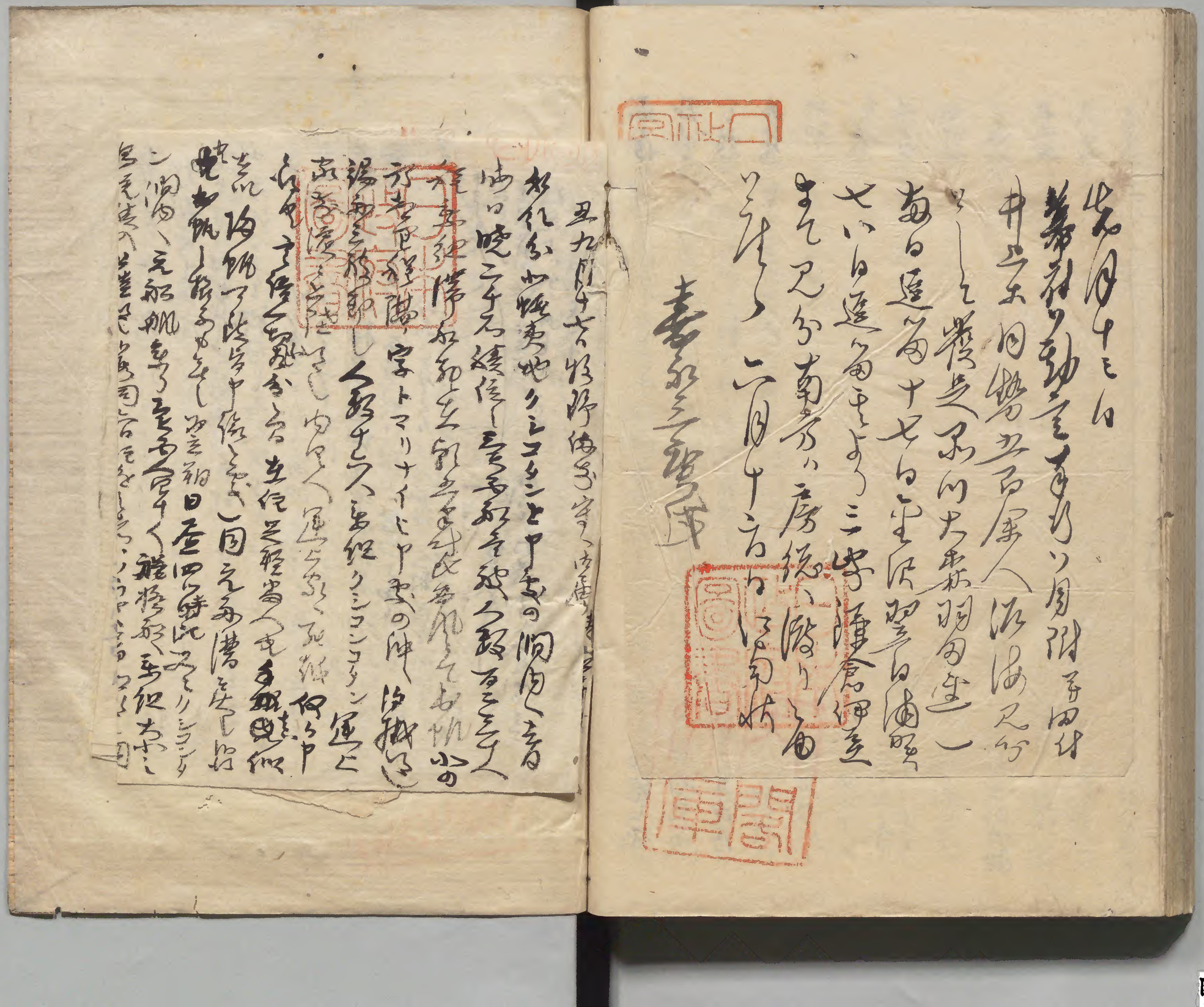
[illegible]

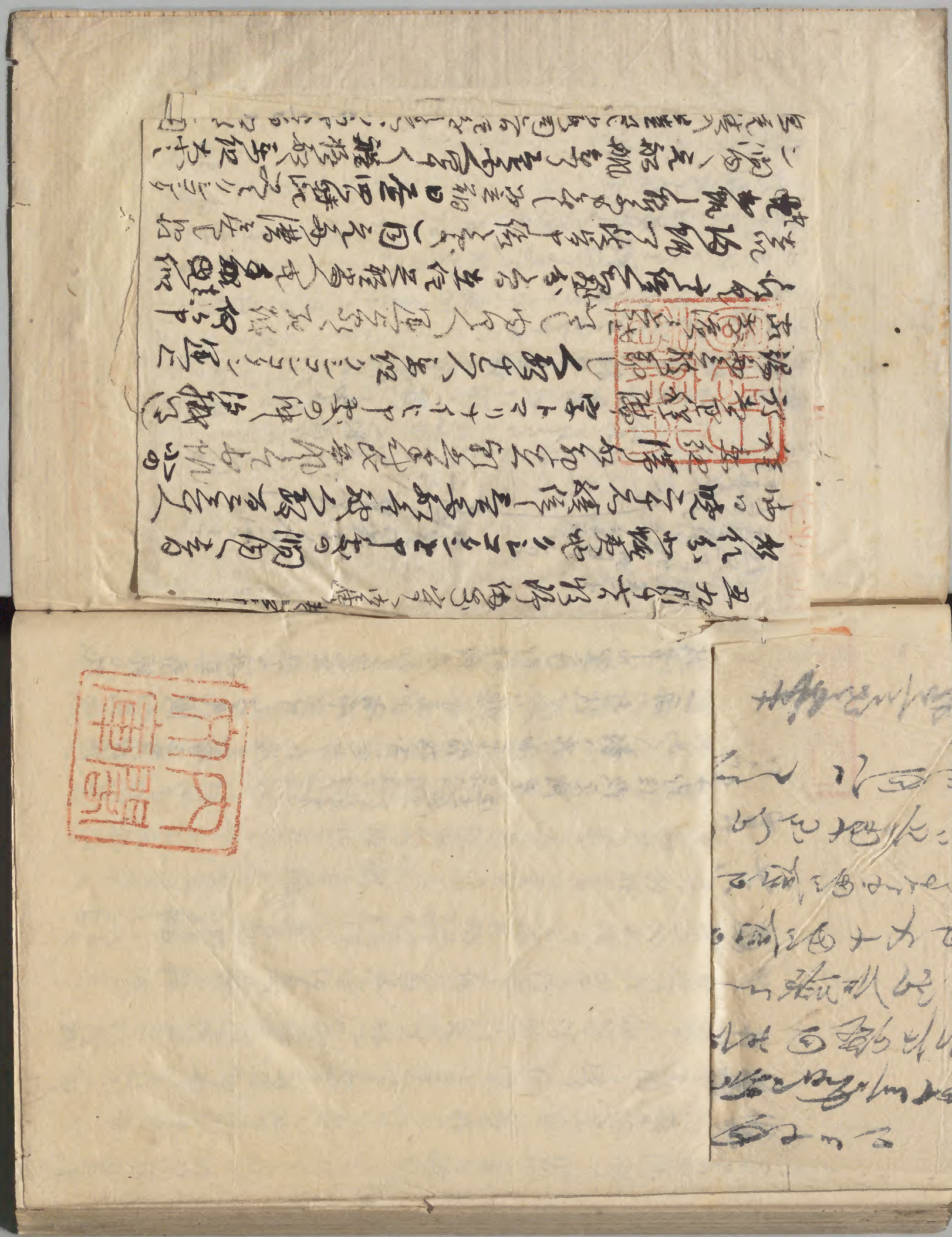
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]





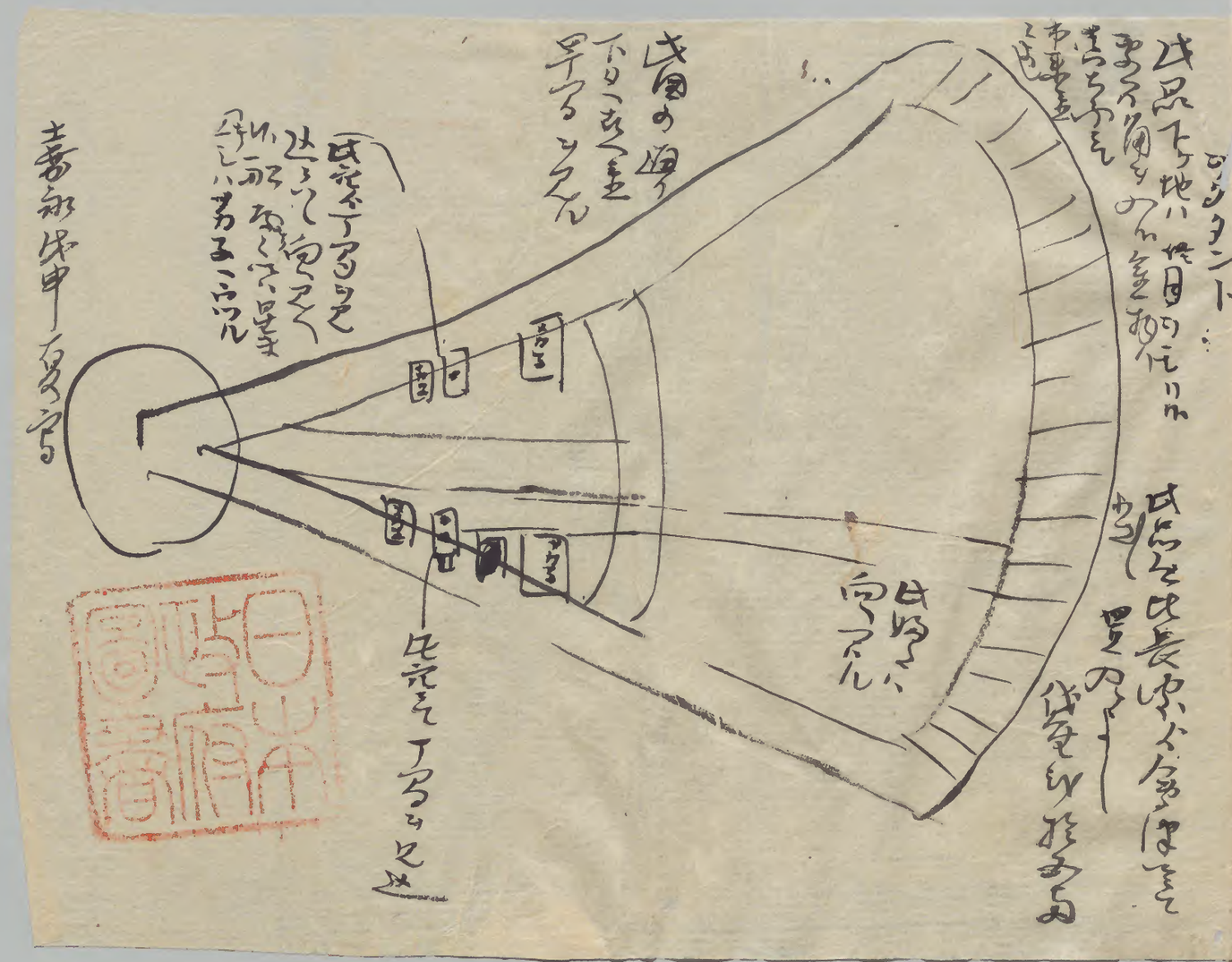
国立公文書館
National Archives of Japan

丑九月十六日　伊藤博文

[illegible]

[illegible]

[illegible]


嘉永安政申酉年

書翰宛中原家

青山中旬ヨリ伊豆ヶ谷ヲ経テ三月廿五日ニ沼津ニ陣ス
沼津陣ヲ撤シ伊豆ヶ谷ヲ経テ陣ス
沼津ヲ撤シ三月廿六日ニ沼津ニ陣ス
三月廿七日ニ沼津ヲ撤シ
伊豆ヶ谷ヲ経テ三月廿八日ニ沼津ニ陣ス
沼津ヲ撤シ三月廿九日ニ沼津ニ陣ス
沼津ヲ撤シ三月晦日ニ沼津ニ陣ス

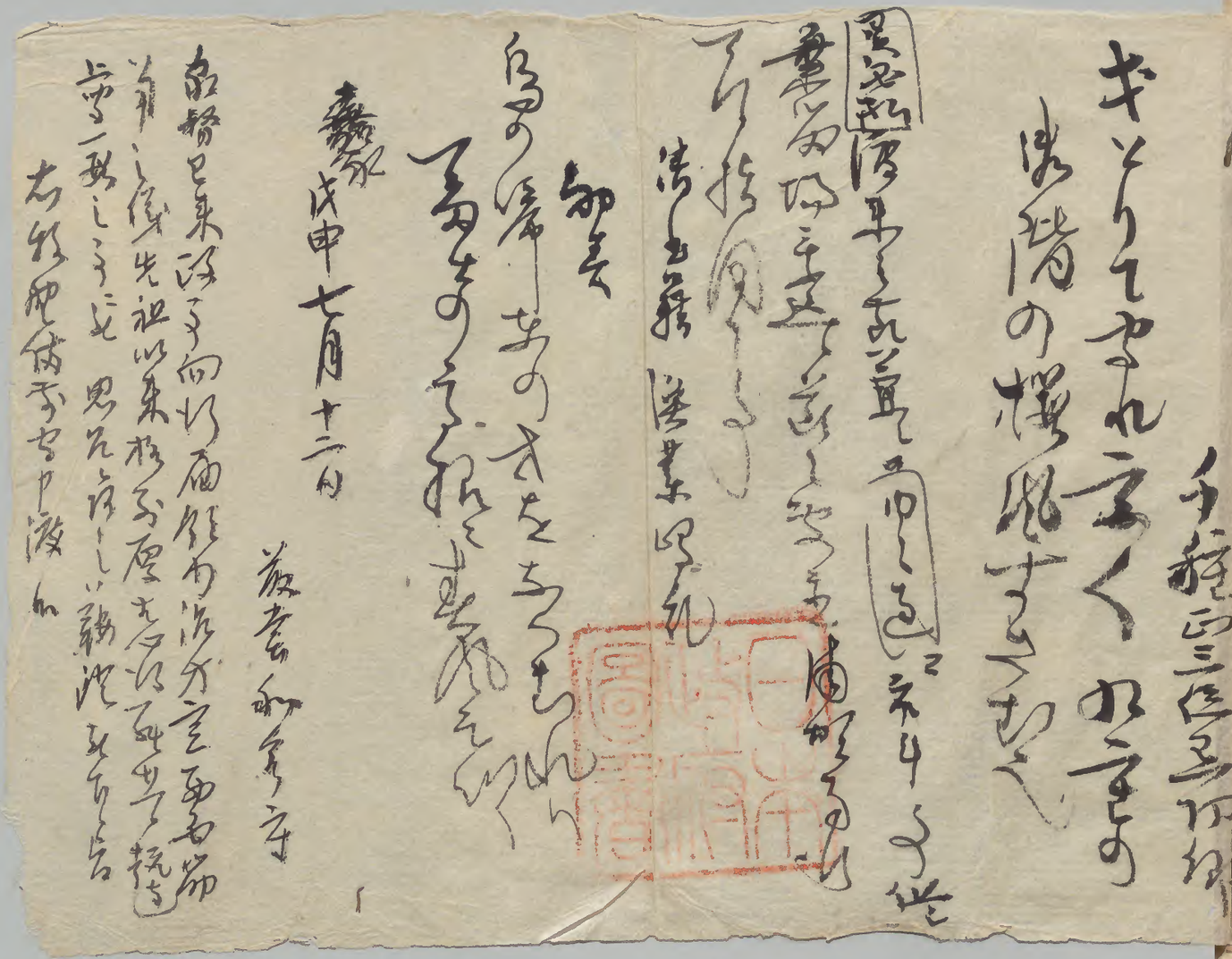
太一郎方ヘ呼寄ス

沼津ヲ撤シ伊豆ヶ谷ヲ経テ沼津ニ陣ス

長四尺五寸 長五尺五寸 拾貫目ノ鉄砲
長五尺五寸 三貫匁ノ鉄砲
同五尺 壱貫匁ノ鉄砲 四丁
伊豆ヶ谷ヲ経テ沼津ニ陣ス

モルチール砲
右ノ砲ハ、ホウイツツル砲ニ
ホウイツツル砲ハ、榴弾ヲ打チ出ス
榴弾ハ人ヲ殺リ出シ、
四ツ玉 三千発

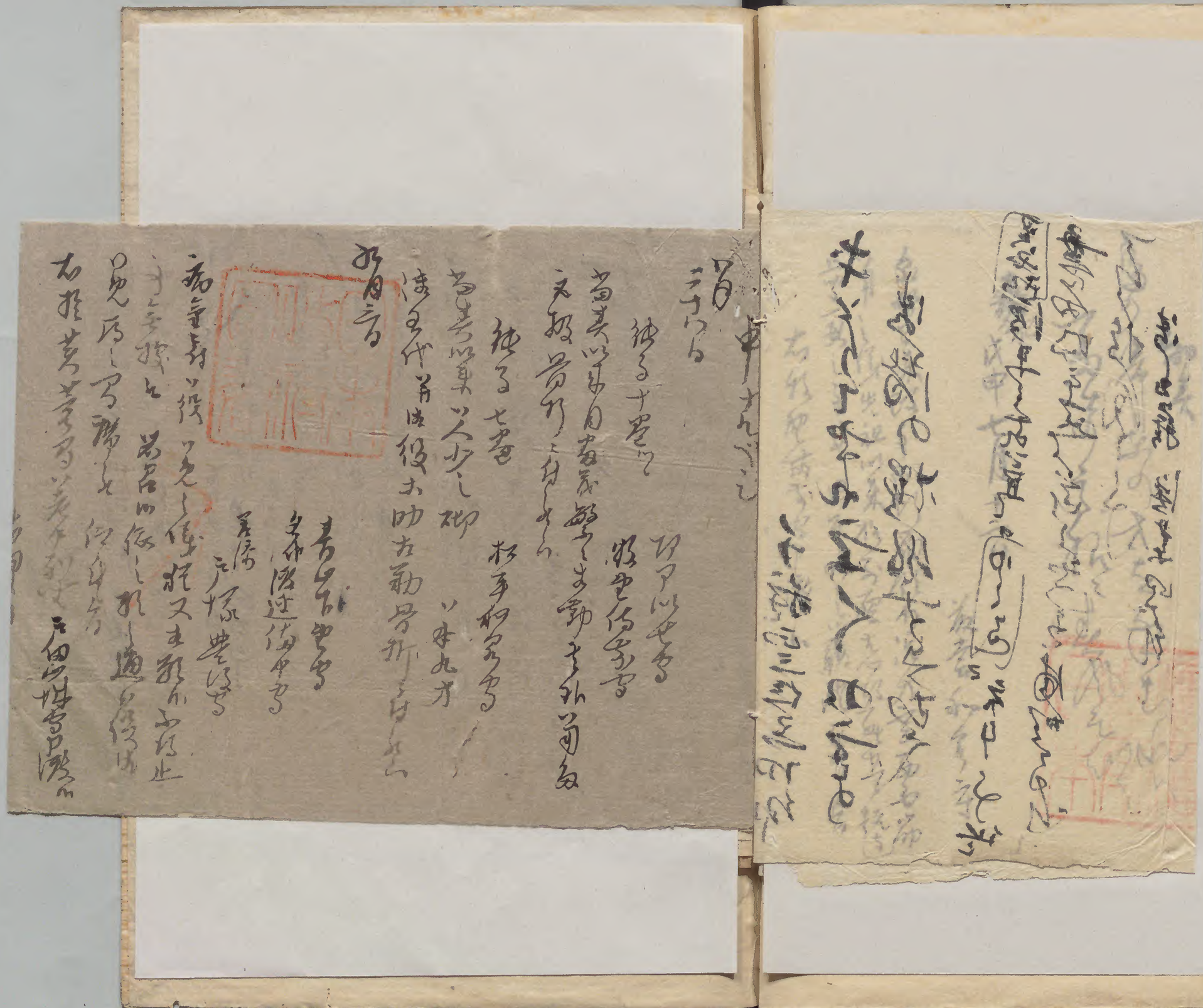
ホンヘン刀ノウ 但シヘキサンストモニ 代砲十四号目ニ
長サ二尺五寸ノ刀ニ
右ノ刀ハ三月廿九日ニ沼津ニ陣シ
代地ニテ買ヒ



[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

四十日

[illegible]

十二日

[illegible]

十六日

[illegible]

二十日

[illegible]

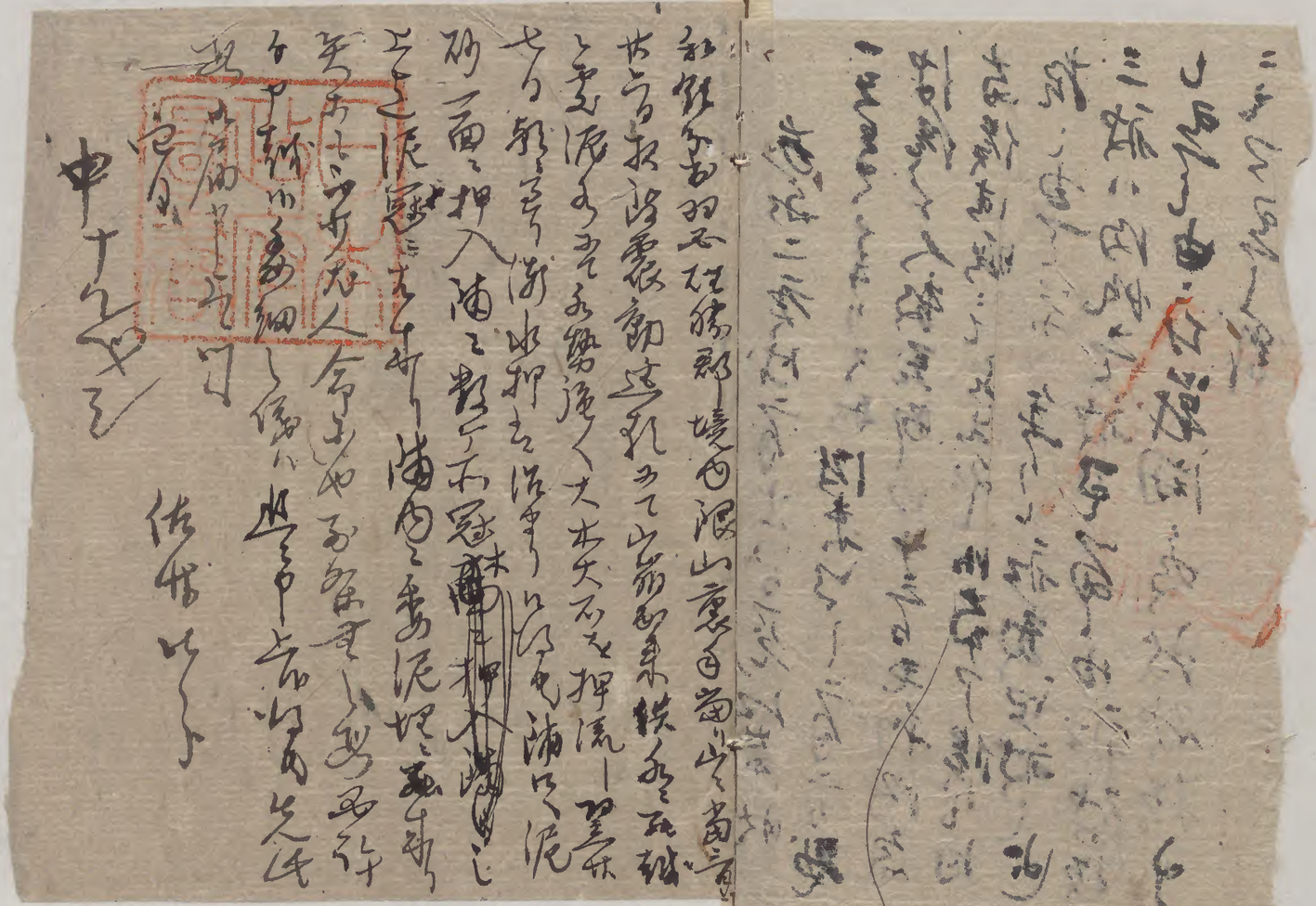
[illegible]二百人[illegible]

[illegible]十二日毛利[illegible]

[illegible]十六日

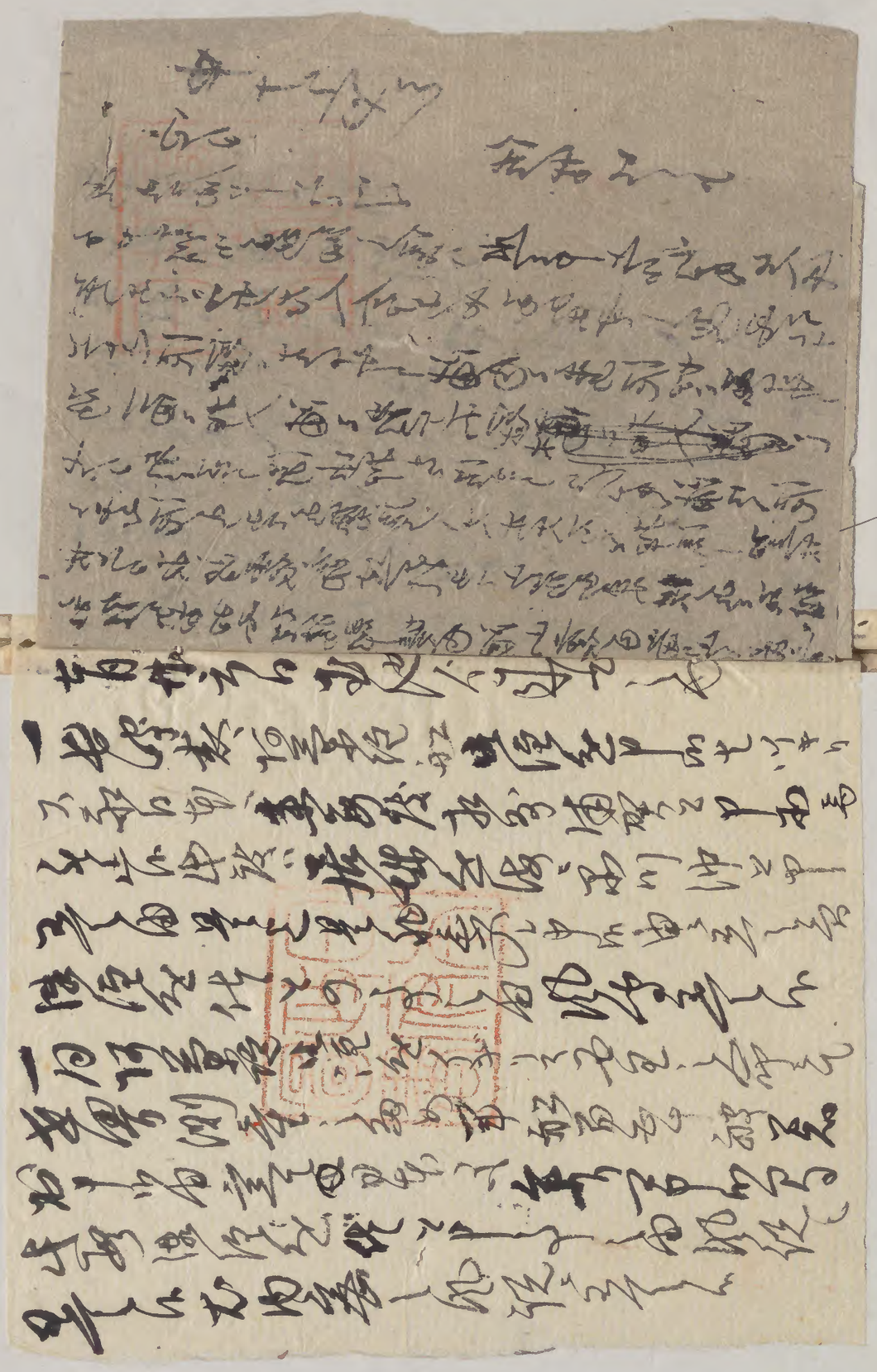
[illegible]

[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan



[illegible]

[illegible]

[illegible]

フランスノ人ニテ大沢ヲ凝ラシ[illegible]
心ヲ、慢ノ情ヲ忘ル、
右西ノ自新ヲ[illegible]
心ヲ永ク和ト法理ヲ[illegible]ハ
如何ラム思ノ軒ノ作ラウヒラカヒ

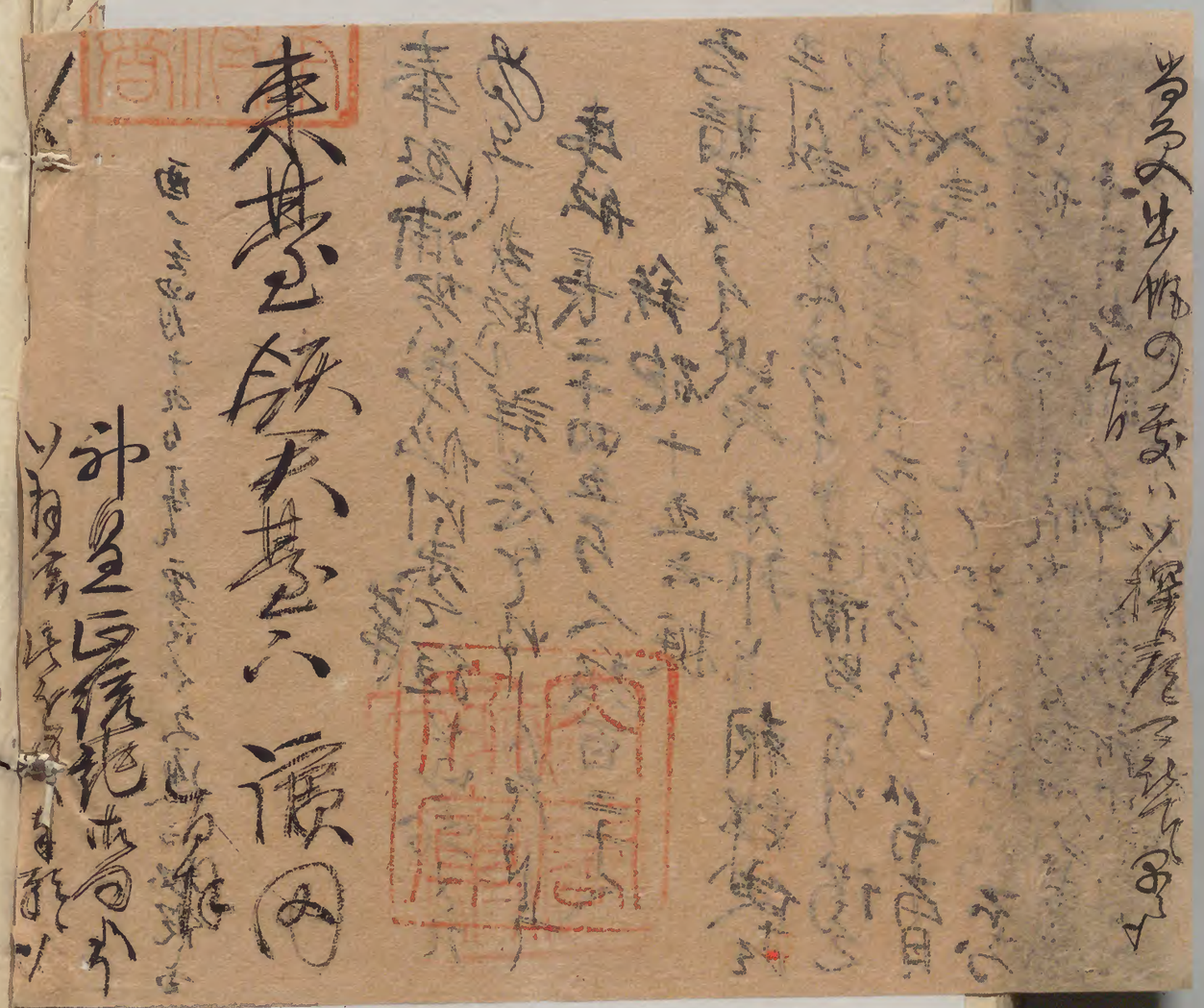
返し

[illegible]ヌラ慢ノ[illegible]カシ[illegible]
[illegible]ルノ子供ノ[illegible]
[illegible]ヤ[illegible]

久[illegible]ノ作

西ノ丸男十九日[illegible]

奉[illegible]浦賀表船到来[illegible]
[illegible]詩悲[illegible]
唐船長二十四五丈人数百三十人
鉄砲十五挺
右精密[illegible]
[illegible]本邦并朝鮮使[illegible]
[illegible]
入津[illegible]
為何船[illegible]
十日也[illegible]



国立公文書館
National Archives of Japan

国立公文書館
National Archives of Japan